

スーパーマーケット景気動向調査

2017年8月調査結果（7月実績）
（2017年8月22日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

8月調査（7月実績）結果概況

景気判断DIは現状・見通し判断ともにわずかに改善

7月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+0.1の44.2、見通し判断も前月から+0.1の42.2となり、どちらも大きな変化はみられなかった。

経営動向調査では、売上高DIが-11.6と3ヵ月連続の二桁のマイナスとなったほか、収益DIは-10.2とわずかに低下した。生鮮品仕入価格DIが青果相場下落により2013年4月以来の-1.4とマイナスとなった影響で、販売価格DIは-2.7まで低下した。また、客単価DIが-2.4と3ヵ月連続のマイナスとなった。ゲリラ豪雨の影響を受けた来客数DIも-13.1と低迷した。

カテゴリー動向調査では、畜産DIがわずかなプラスとなったが、他のDIはマイナスとなった。なかでも野菜を中心に単価が下落した青果DIや寄生虫アニサキス報道の影響を受けた水産DIでは二桁のマイナスを示した。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査では、総じて前月から変化はみられなかった。周辺地域景気判断に比べ、スーパーマーケット中核店舗での景気判断DIが悪化している状況が続いている。2015年5月をピークにした低下傾向が続いているとみられる。（周辺地域景気動向DI長期傾向参照）

景気判断は現状の水準を維持しているが、生鮮仕入原価DIの低下により3ヵ月続けて客単価がマイナスとなるなどの厳しい状況が続いている。生鮮相場の影響は避けられないとしても、近年、日常化している不安定な気候や変化の大きい気温に対しては、予報技術の進歩により一定程度対応可能である。異常気象のマイナスを最小化し、プラスに転換する取り組みに期待したい。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月：44.2 (+0.1) 前月：44.1	消費者購買意欲DI 当月：45.1 (±0) 前月：45.1	周辺地域 競合状況DI 当月：41.6 (-0.1) 前月：41.7	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：46.1 (-0.2) 前月：46.3
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月：42.2 (+0.1) 前月：42.1	消費者購買意欲DI 当月：43.8 (+0.6) 前月：43.2	周辺地域 競合状況DI 当月：39.5 (-0.8) 前月：40.3	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：45.3 (-0.4) 前月：45.7
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月：-11.6 (-0.4) 前月：-11.2	客単価DI 当月：-2.4 (+0.7) 前月：-3.1	来客数DI 当月：-13.1 (-2.9) 前月：-10.2	
収益DI 当月：-10.2 (-0.7) 前月：-9.5	販売価格DI 当月：-2.7 (-1.7) 前月：-1.0	生鮮品仕入原価DI 当月：-1.4 (-3.1) 前月：1.7	食品仕入原価DI 当月：2.4 (+1.1) 前月：1.3

カテゴリー動向

青果DI 当月：-19.1 (-3.9) 前月：-15.2	水産DI 当月：-19.6 (±0) 前月：-19.6	畜産DI 当月：0.2 (-3.4) 前月：3.6	
惣菜DI 当月：-0.5 (-1.1) 前月：0.6	日配DI 当月：-1.1 (+5.3) 前月：-6.4	一般食品DI 当月：-5.4 (-2.9) 前月：-2.5	非食品DI 当月：-9.9 (+2.4) 前月：-12.3

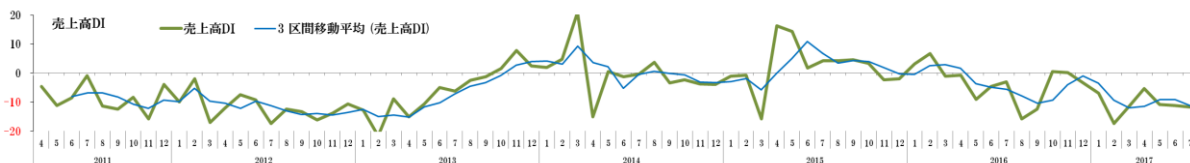
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

8月調査（7月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

二桁のマイナスを記録し、低迷続く

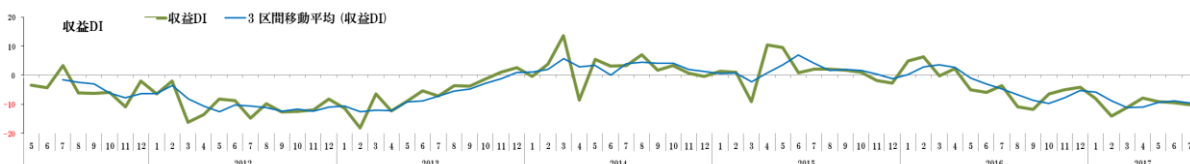
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	10.7	40.7	32.2	15.3	1.1	-11.2
売上高（当月）	10.2	44.3	27.8	17.0	0.6	-11.6



2. 収益DI

当月もわずかに下降し、低迷が続く

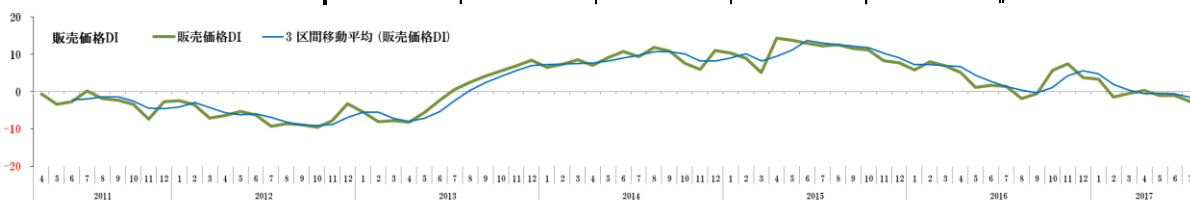
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	9.8	37.9	35.1	14.9	2.3	-9.5
収益（当月）	10.3	39.1	32.8	16.7	1.1	-10.2



3. 販売価格DI

マイナス圏での推移が続く

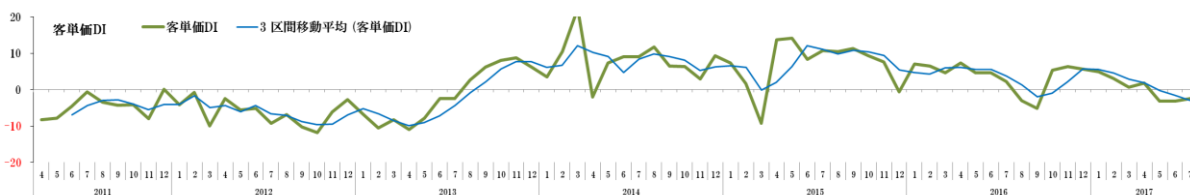
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.6	17.5	67.2	14.7	0.0	-1.0
販売価格（当月）	1.7	20.9	63.8	13.6	0.0	-2.7



4. 客単価DI

3ヵ月連続でマイナスとなり下降傾向が続く

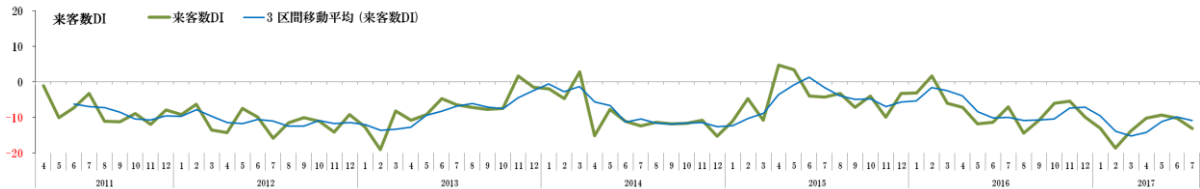
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	1.7	26.9	53.7	17.7	0.0	-3.1
客単価（当月）	1.1	24.9	56.5	17.5	0.0	-2.4



5. 来客数 DI

2ヵ月連続で二桁マイナスとなるなど弱含みが続く

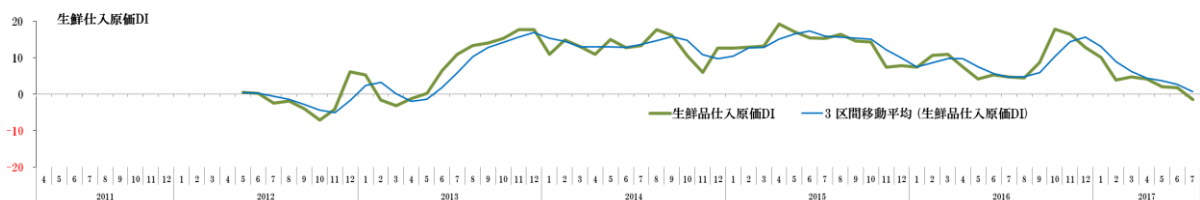
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	7.4	40.9	36.9	14.8	0.0	-10.2
来客数 (当月)	9.6	46.9	29.9	13.6	0.0	-13.1



6. 生鮮仕入原価 DI

2013年4月以来のマイナスを記録し、低下傾向が続く

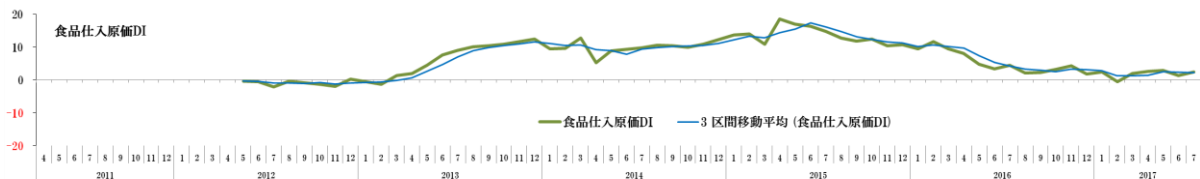
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	2.9	14.9	56.3	24.1	1.7	1.7
生鮮仕入原価 (当月)	5.2	20.8	50.3	22.0	1.7	-1.4



7. 食品仕入原価 DI

わずかにプラス圏を維持し、横ばいでの推移が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	2.3	10.2	67.6	19.9	0.0	1.3
食品仕入原価 (当月)	1.7	8.6	68.6	20.6	0.6	2.4

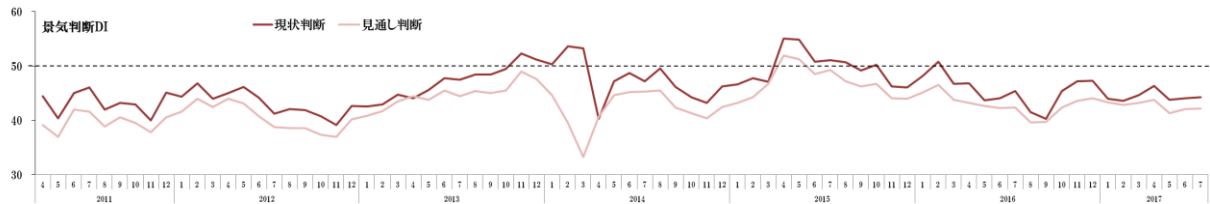


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断、見通し判断とも前月水準から変化なし

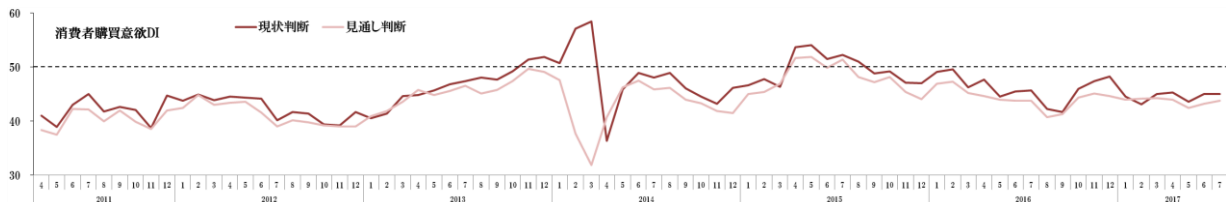
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	1.1	29.4	61.6	7.9	0.0	44.1
【現状】景気判断 (当月)	1.1	28.1	63.5	7.3	0.0	44.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	2.3	31.6	61.6	4.5	0.0	42.1
【見通し】景気判断 (当月)	2.3	31.8	60.8	5.1	0.0	42.2



2. 消費者購買意欲 DI

見通し判断は小幅に改善するも、前月水準から変化なし

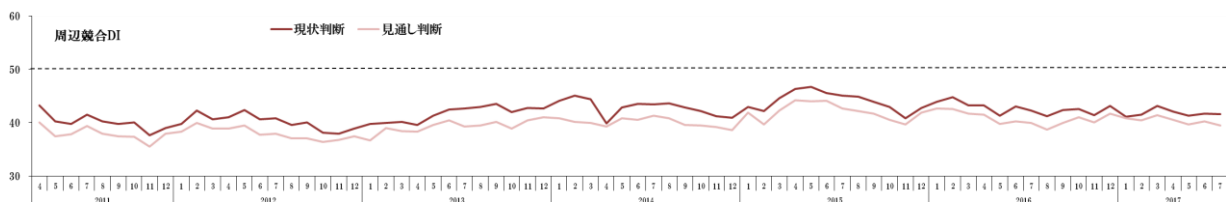
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.6	26.0	66.1	7.3	0.0	45.1
【現状】購買意欲 (当月)	0.6	24.9	68.4	6.2	0.0	45.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	1.1	28.8	66.1	4.0	0.0	43.2
【見通し】購買意欲 (当月)	1.1	27.8	65.9	5.1	0.0	43.8



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断とも前月水準から大きな変化なし

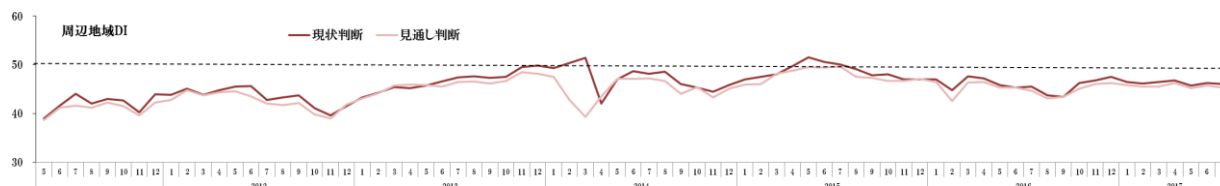
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	4.0	28.8	63.8	3.4	0.0	41.7
【現状】競合状況 (当月)	4.5	28.7	62.9	3.9	0.0	41.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.5	31.6	62.1	1.7	0.0	40.3
【見通し】競合状況 (当月)	6.3	31.3	60.8	1.7	0.0	39.5



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

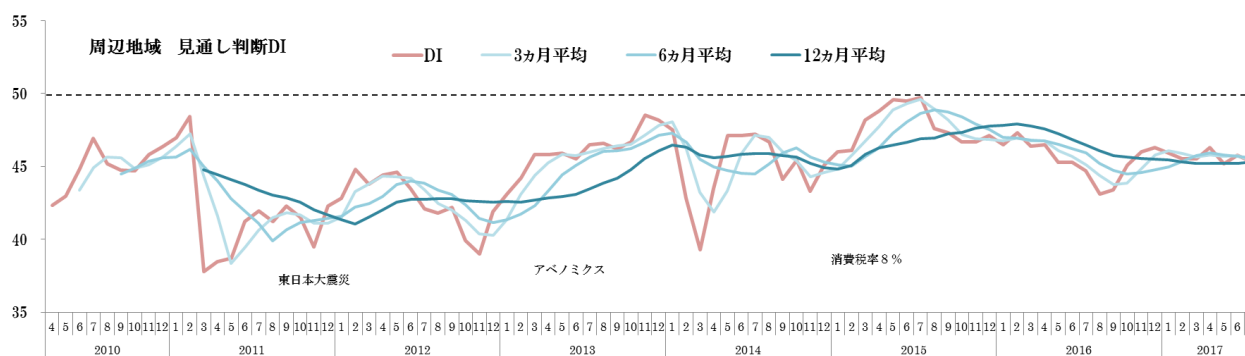
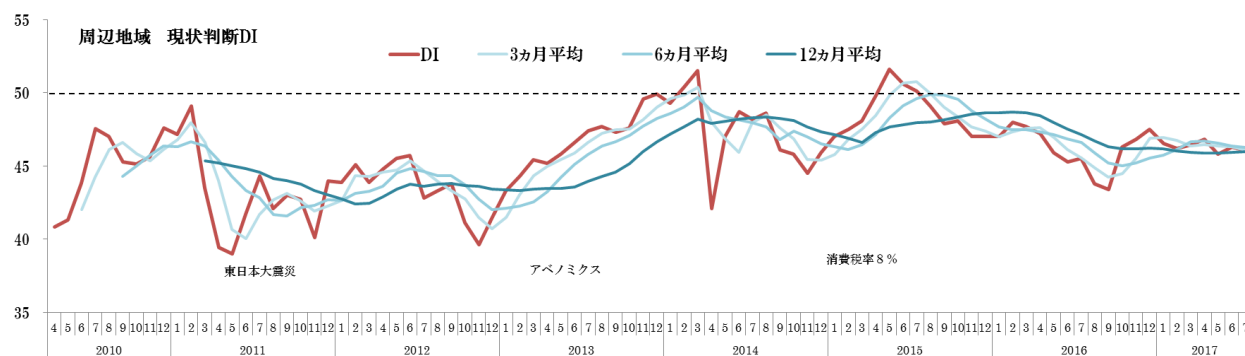
現状判断、見通し判断とも前月水準から大きな変化なし

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	17.0	80.7	2.3	0.0	46.3
【現状】地域景気(当月)	0.0	18.5	78.7	2.8	0.0	46.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.0	17.0	80.7	2.3	0.0	46.3
【見通し】地域景気(当月)	0.0	18.5	78.7	2.8	0.0	46.1



長期傾向 (2010年4月～)

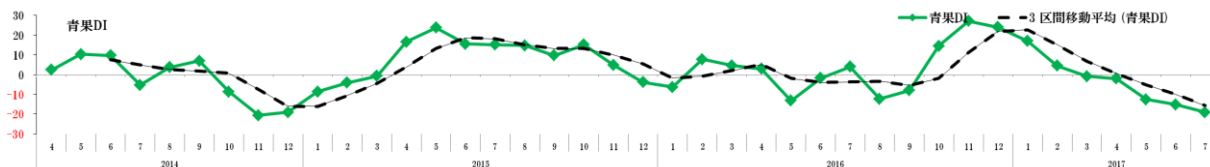
2012年11月以降改善傾向を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した。5月に一旦持ち直したものの、6月～8月まで横ばい推移、9月に再び悪化した。その後、年末から6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで改善をみせた。これをピークに6月以降悪化傾向が続き11月は下落の速度が早まった。12月～2月は横ばいで推移したものの、2016年3月以降悪化をみせ、8月には大きく下落した。直近9月に下げ止まりをみせ、10月は一転して大きく改善し、12月まで小幅な改善が続いた。2017年に入り、方向感なく横ばい推移が継続してし、直近は12ヵ月移動線付近で下げ止まっている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：-19.1（不調）

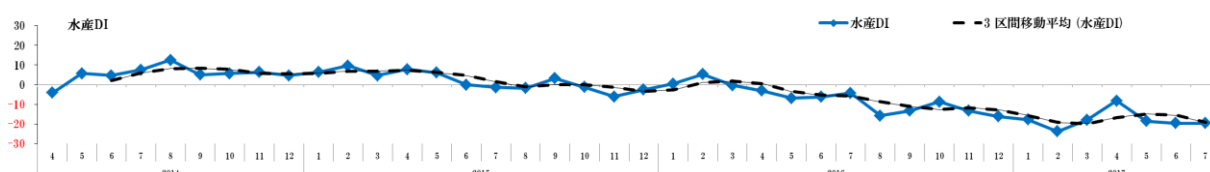
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	14.9	44.0	28.6	11.9	0.6	-15.2
青果（当月）	20.6	46.7	21.8	10.3	0.6	-19.1



気温の上昇により、サラダ類（トマトやキャベツ、レタス）を中心に販売数量は好調となったが、野菜類は相場が低下し一品単価が下落したため不調となった。特に土物（たまねぎ、ばれいしょ）は前年の高値であり単価の下落幅が大きかった。一方、比較的高値で推移している果物類では、スイカが総じて好調であったほか、出荷に遅れていたサクランボや桃、メロンなどが出回り始めたことも追い風となった。カットフルーツは引き続き好調。輸入果物ではバナナが単価下落で不調となった。

2. 水産DI：-19.6（不調）

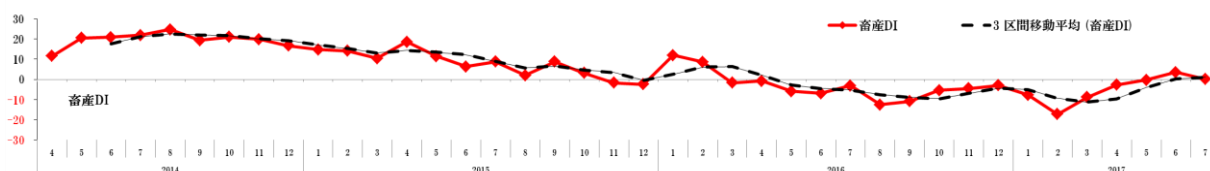
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	18.5	51.2	23.2	4.8	2.4	-19.6
水産（当月）	16.9	54.2	19.3	9.6	0.0	-19.6



引き続き生魚の入荷が少なく相場も高値が続くなか、生魚、刺身などが引き続きアニサキス報道による影響を受け不調となった。うなぎは、丑の日の曜日めぐりがよく、かつ天候にも恵まれたため、国産うなぎを中心に好調となった。かつおやアジ、生するめいかは入荷不足と相場高の影響で不調となった。

3. 畜産DI：0.2（やや好調）

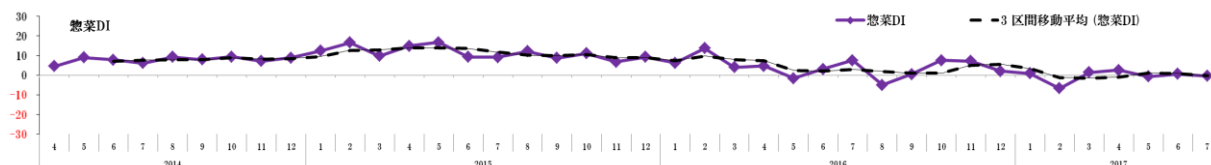
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	3.6	25.1	32.3	31.1	7.8	3.6
畜産（当月）	5.5	25.5	37.0	27.3	4.8	0.2



気温が上昇した地域ではステーキや焼肉用牛肉が好調となった。相場が高止まりしている国産は伸び悩み、輸入牛を中心に好調となった。豚肉は国産が相場高となっているが、冷しゃぶ用を訴求して好調だが、一方で価格上昇による数量減や輸入豚への需要のシフトにより伸び悩んだ店舗もみられた。鶏肉は好不調の判断がわかれている。海産物からの需要シフトを指摘するコメントも多くみられた。

4. 惣菜DI：-0.5（やや不調）

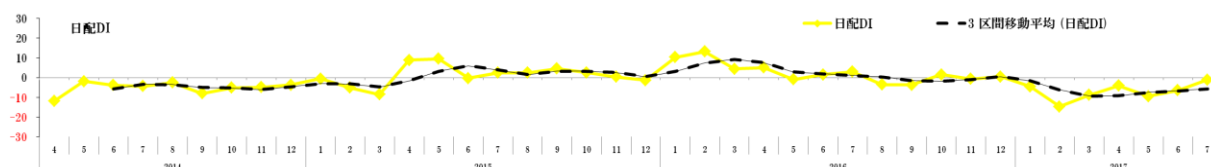
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	6.6	18.7	44.0	27.1	3.6	0.6
惣菜（当月）	4.3	28.0	37.2	26.2	4.3	-0.5



気温上昇により、サラダ類、冷やし麺などの涼味商材や、焼き鳥などのおつまみが好調となった。天ぷら、フライ、唐揚げなどは、暑さにより家庭調理が敬遠され好調な店舗がある一方で、伸び悩んだ店舗もみられた。寿司は持ち帰りを避ける傾向がみられるなど不調となった。土用の丑は、どんぶりものを中心に好調となった。

5. 日配DI：-1.1（やや不調）

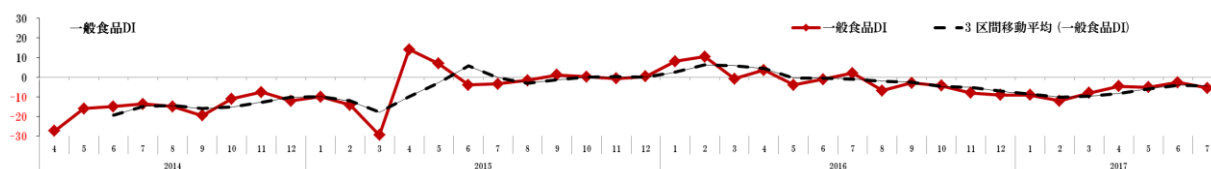
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	7.1	31.0	42.3	19.6	0.0	-6.4
日配（当月）	4.9	27.4	37.2	28.0	2.4	-1.1



気温上昇により、アイスが好調となったほか、涼味商材であるチルド飲料、麺類、豆腐、ところてん、などが好調となった。洋日配は全般的に好調だが、練り物を中心に和日配は不調となっており、なかでも前年青果相場高により需要が高まった漬物類は反動がみられた。暑さが厳しかった地域では、和菓子やパンの動きが悪かった。

6. 一般食品：-5.4（やや不調）

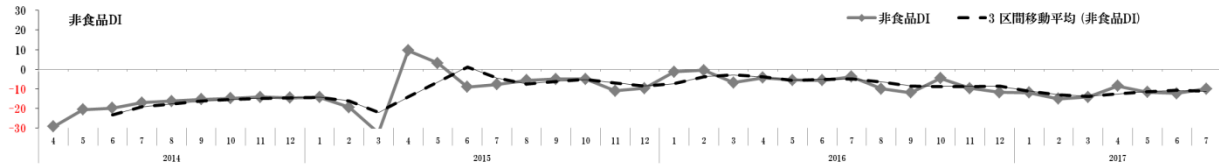
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	5.4	24.6	46.1	22.8	1.2	-2.5
一般食品（当月）	6.6	29.5	43.4	19.9	0.6	-5.4



気温上昇により、乾麺やめんつゆ、飲料やチューハイなどの夏物商材が好調だったほか、行楽商材も好調となった。ビールは単価上昇による数量減の影響がでている店舗もみられた。前月まで好調の米類は伸び悩みをみせたほか、お中元ギフトは全般に厳しくなった。菓子類は好不調が分かれた。競合との価格競争を指摘するコメントが多くみられた。

7. 非食品 DI：-9.9（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	14.1	31.3	46.0	6.7	1.8	-12.3
非食品（当月）	15.5	26.7	42.9	11.8	3.1	-9.9



気温の上昇により制汗剤など季節商材の動きがよく、またヒアリ報道などで殺虫剤が好調となった店舗が多い。一方でたばこや紙製品などは不調となった。ホームセンター、ドラッグストアなどの価格競争が厳しい状況が続いている。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2017年8月調査（7月実績）キーワード TOP3

1. 青果相場安
2. 気温上昇・豪雨
3. 水産部門の不振

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

7月実績速報版 178社
 6月実績確報版 177社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp